

ミニレター  
**あぜみち通信**

\* \* \* \* \*

令和元年5月1日

第221号

編集・発行：(一社)愛知県農業会議

◎ **常設審議委員会（4月）の審議状況について**

4月9日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る農業委員会からの諮問等に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

会議開催に先立ち、今後諮問が予定される愛知県農業水産局及び都市整備局の関係職員も出席し、それぞれ紹介を行いました。

4月の常設審議委員会には、15の農業委員会から農地法第5条に基づく転用事案29件、219,255㎡について諮問がされ、審議の結果、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

◎ **平成31年度全国情報会議が開催されました**

4月11日に東京都文京区の「椿山荘」において、(一社)全国農業会議所主催による平成31年度全国情報会議が開催されました。

二田全国農業会議所会長による主催者挨拶の後、第25回「農業委員会だより」全国コンクール入賞農業委員会表彰が行われ、愛知県からは岡崎市農業委員会が全国農業新聞賞の表彰を受けました。

情報活動功労者表彰を始めとする各表彰の後、協議に入り、「平成31年度情報事業計画」及び「農地利用の最適化を進める情報提供活動のあり方」について説明があり、いずれも承認されました。

最後に「日本の農業のこれからーグローバルワイドな可能性の中でー」をテーマに、群馬県立女子大学の佐々木 尚毅教授による記念講演が行われました。

◎ **農業委員会職員等新任者研修会を開催しました**

4月17日に「愛知県三の丸庁舎」において、愛知県農業委員会事務研究会（吉川 勝 会長（豊橋市農業委員会事務局長））と（一社）愛知県農業会議の共催により、農業

委員会職員等新任者研修会を開催し、80余名が参加しました。

研修会は、農業会議、農地中間管理機構（(公財)愛知県農業振興基金）及び県農業振興課の職員が講師となり、①農業委員会法の概要と農業委員会の運営、②農地法の概要、③農地転用許可の概要、④農業経営基盤強化促進法の概要、⑤農地中間管理事業推進法の概要について講義方式により実施し、参加した皆さんには、熱心に受講していただきました。

## ◎ 農の雇用事業新任担当者向け研修会が開催されました

4月18日に東京都千代田区の「中央労働基準協会ビル」において、全国農業会議所主催による農の雇用事業新任担当者向け研修会が開催されました。

この事業は、農業分野での雇用を創出し、新規就農者の確保・育成を図るため、農業法人等が就農希望者を正規社員として雇用し、農業技術等を習得させるための実践的な研修（OJT）を実施する場合に経費を補助する事業です。

平成31年度については、農業法人等の従業員数に応じて同一年度内の新規採択者数の上限設定、研修生の年齢を「原則45歳未満」から「原則50歳未満」へ引き上げなど要件が変更されました。

詳しくは、愛知県農業会議農政課にお問い合わせください。

## ◎ 愛知県農業生産振興協議会が開催されました

4月18日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、愛知県農業生産振興協議会が開催されました。

この協議会は、新たな品目の産地化を目指して、平成24年度から生産現場に密着した課題を取り上げて活動しており、例えば、平成30年度に終了した課題は、「冬蒔き春植えたまねぎの大規模生産に向けた栽培実証」です。

田中会長（JAあいち経済連常務理事）及び金沢県農業水産局技監の挨拶に続いて協議に入りました。

提出議案は、平成30年度愛知県農業生産振興支援活動報告、平成31年度愛知県農業生産振興支援活動計画等であり、いずれも承認されました。

なお、平成31年度愛知県農業生産振興支援活動計画では、下記の三つの課題を継続して実施することとなっています。

- ① 省力化・規模拡大による紅蓮の生産振興
- ② 専用果実袋の袋掛けによるイチジクアザミウマ対策の実証
- ③ 県内いちご委託苗生産拡大に向けた栽培・経営実証

◎ **愛知県農業再生協議会の通常総会が開催されました**

4月22日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、愛知県農業再生協議会の平成31年度通常総会が開催されました。

中根愛知県農業再生協議会会長（県農業水産局長）の挨拶に続いて協議に入りました。

議題として、平成30年度事業報告及び収支決算、平成31年度事業計画及び収支予算、及び役員を選任の議案が提案され、全て原案どおり承認されました。

平成30年産以降、国からの米の生産数量目標の配分は廃止され、需要に応じた米生産を進めるため、この協議会が生産数量目標の目安の配分主体となっており、議題終了後に県内の地域ごとの作付動向等について説明がありました。

◎ **全国農業委員会都市農政対策協議会主任者会議が開催されました**

4月23日に東京都千代田区の「主婦会館プラザエフ」において、全国農業委員会都市農政対策協議会主催による主任者会議が開催されました。

全国農業会議所砂田農政・経営対策部長の挨拶に続き、「都市農業振興基本法の成立を踏まえて都市農業の今後を考える」と題して、千葉大学の中村 攻名誉教授による講演がありました。

内容は、都市農業振興基本法の設立背景、都市農業の特徴や都市農業の新たな展開に関するもの、都市農業を農業生産の場だけでなく、福祉や教育、環境、新産業創出等の場として横展開の施策が必要とされることなどの説明がありました。

講演後、平成31年度通常総会提出議案として、平成30年度事業報告及び収支決算、平成31年度事業計画、収支予算等について協議を行ったほか、改正生産緑地法、都市農地の貸借の円滑化に関する法律の周知徹底など当面の取り組みについて協議しました。

◎ **愛知県農業経営士協会、愛知県青年農業士連絡協議会の通常総会が開催されました**

4月23日に岡崎市の愛知県青年の家において、愛知県農業経営士協会の平成31年度通常総会並びに愛知県青年農業士連絡協議会の平成31年度通常総会がそれぞれ開催されました。

愛知県農業経営士協会の総会では、提出された議案は全て原案どおり承認されました。また、議事終了後、定年退会者55名に感謝状の授与がありました。

愛知県青年農業士連絡協議会の総会では、提出された議案は全て原案どおり承認され、役員改選では、会長に杉浦淳史氏(東三河)、副会長に渡邊紘士氏(海部)、会計に藤浦広貴氏(碧海)が選任されました。

なお、総会の前に、農業大学校、農業経営士協会及び青年農業士連絡協議会の共催により、株式会社MISO SOUP代表取締役の北川 智博氏を講師として、「「これだけは押さえない！農産物ブランドの作り方」～クラウドファンディング、マーケティングについて～」と題した研修会が行われました。

## ◎ 農地中間管理事業説明会及び推進研修会が開催されました

4月24日(名古屋市中区の「JAあいちビル西館」)と25日(岡崎市の愛知県西三河総合庁舎)の2回に分けて、それぞれ(公財)愛知県農業振興基金(農地中間管理機構)主催による事業説明会及び推進研修会が開催されました。

可知理事長からは、「農地中間管理事業が5年経過し、集積累計は2,144haであるが集積率は2.8%と多くない状況にある。関係法律も改正されるが、一番大切なのは現状把握であり全ての原点となる。」との挨拶がありました。

続いて、農地中間管理事業の実績と取組事例、農地中間管理事業に関する法律等の一部改正(案)の概要等について説明がなされました。

## ◎ 今後の主な行事予定

- 5月10日 常設審議委員会(三の丸庁舎)
- 5月15日 都道府県農業会議会長会議(東京都・主婦会館プラザエフ)
- 5月17日 農業委員会会長・事務局長会議(三の丸庁舎)
- 5月22日 監査会(三の丸庁舎)
- 5月27日 全国農業委員会会長大会・現地研修(～28日)(東京都・文京シビックホール、千葉県香取市農業委員会)
- 6月3日 理事会・常設審議委員会(三の丸庁舎)
- 6月18日 通常総会・理事会・研修会(三の丸庁舎)

### お知らせ

#### 県農業会議に農地相談員・農業者年金総合指導員を設置

県農業会議では、農業会議内に農地相談員・農業者年金総合指導員を設置し、農地・農業者年金等に関する相談を受付けています。お気軽にご相談ください。

- 相談内容 農地の貸借・売買等に関する相談、農業者年金に関する相談
- 相談時間 毎週火・水・金曜日、午前9時～午後5時まで(正午～午後1時は除く。)
- 問い合わせ先 TEL 052-953-5877 ・ FAX 052-953-0399
- 相談指導員 農地相談員・農業者年金総合指導員 伊奈 学